

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
おおきな木真法院町		年 月 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	・運動スペースと創作スペースで活動を分け、スペースを広く活用している。 ・少し狭いような気がする。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	・タイマーを活用している。(2票) ・タイマー等で人員を確保し、全職員に役割を振り分けている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	3	・トイレに関しては段差があるので配慮が必要。 ・視覚化は行っている。 ・なるべく理解できるよう平仮名をふって情報が伝達できるようにしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	・児童さんが来所する前に清掃を行っている。 消毒も徹底している。 ・快適かは分からないが清潔には気を付けている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	・急な体調不良等の休憩やクールダウンスペースを設けている。 ・児童が落ち着けるようにフロアとは隔離されているスペースがある。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	3	・一部の職員で研修を受けている。 ・今ちょうどPDCA研修を受けている。 ・本社にて定期的に研修を受けている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・毎朝のミーティングを行っている。 ・スタッフ会議を開き定期的に意見交換をしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・少し公表が遅い。 ・ファイルでいつも確認できるようにしている。 ・適切かどうかは分からないがプログラムは配布されています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	・懇談、モニタリングを実施している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	3		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	4	・全利用者さんに対してはできていないと思う。 ・職員全体に共有されているかは分からない。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	3	・個人にたよっている。 ・一部の人のみで行っている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・計画を作成しているが、支援が行われているかは難しいところがある。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	・必ずではないが朝にミーティングを行っている。(2票) ・グループLINE等で目視でも確認できるようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	5	・翌日の朝のミーティングで共有している。(2票) ・十分には出来ていないと感じている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	3	・記録は取っているが、悪検証は出来ていない。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	・責任者または児発管が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	・希望があるご家族にのみ園との共有を行っている。 ・電話等で連絡を取り合っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	・一部の児童のみ行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	4	・分からない	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	2	・同ビルの学童と放デイの合同で避難訓練を実施している。 ・防災訓練等で定期的に交流している。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・連絡帳を活用したり送迎時にコミュニケーションをとっている。 ・連絡帳や電話で伝えあっている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	・保護者向けの勉強会を実施している。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	1	・懇談やモニタリングで聞き取りを実施している。 ・子どもの意向は直接確認できていない。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・モニタリングや懇談で支援を行えるように話し合っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	・保護者向けの勉強会や運動会を通して交流している。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・広報誌などの配布を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・絵カードを活用している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2	・イベント等で協力していただいている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1	・ご家族様には周知していない。 ・訓練は実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・年4回の避難訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1	・アセスメントによる。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	・医師の指示書はもらっていないが、アレルギーの有無は把握している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	3		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	3		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	2		

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		おおきな木真法院町		公表日		年 月 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	・フロアや机での活動で分け、スペースを広く活用している。(2票) ・スペースを分けているため接触事故が少ない。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	8	0	・タイミー等を活用し、スタッフの配置数を適切にしている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	4	・可視化しやすいように見える場所に配置し靴や持ち物に名前をつけている。 ・トイレに段差があり歩行困難な児童に関しては配慮で	・構造化まだ不十分です。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	・運動スペースと座って取り組むスペースに分けています。(2票) ・毎朝清掃を行っており、調理の際はマスクと手袋を着用している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	・個別スペースあります。(3票) ・個室はないが、スタッフと1対1になれるスペースはある。	・整理が必要です	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	2	・1か月に1度4人程度でPDCAについての研修を受けています。(3票) ・個人、チーム単位で改善活動があまりないと感じることがある。	・全くないわけではないが、不十分	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	・本、自己評価にて ・面談を通じて意向の把握をしている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・会議にて意見交換をしている。(3票)		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	・研修等で第三者の方から評価をいただいている。 ・保護者アンケートを実施している。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・福祉関係の講習に積極的に参加している。 ・必要に応じて研修をしている。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・職員で把握できるよう、ファイリングしている ・作成、公表は行っているが月末ギリギリに次月分を公表することが多い。	・もう少し早めの公表が必要 ・プログラム作成が苦手な人には事前に案を提出してもらい、改定もしている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	・面談や懇談で拝聴した保護者のニーズや、児童たちの様子を観察し作成されている。 ・懇談、モニタリングを実施している。	・より質の向上を目指します。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	2	・全職員で意見を出して検討されている。	・より質の向上を目指します。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	3	・計画に沿った支援を行っているが、職員全員が利用者全員分を把握はできていないと思う。 ・共有をする機会は少なく感じる。 ・個人ファイルを見るようにしている。	・より質の向上を目指します。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	・個別計画書を見直し、児童にあったアセスメントの確認に役立てている。 ・日々のアセスメントにあたるツールはない。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	・アセスメントやモニタリング、面談、懇談で支援について内容を設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	・事前にプログラムの内容について他職員と話し合っている。(3票) ・個人にたよっている。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・なるべく以前行ったプログラムと違う内容を立案している。 ・まんべんなくプログラムを立案している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・計画は作成しているが、支援が行われているかは全員は難しい。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・確認はしている。 ・朝礼で共有している。	・LINEを活用している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	5	・その日のうちにはできていない。(2票) ・打ち合わせは必ず行われていないが、会話の中で共有が行われることはある。	・翌日の朝振り返しを行っている。(3票)
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	2	・連絡帳で様子を振り返り、職員同士で情報を共有し改善を目指している。 ・記録はないが、改善のための方法の変更は行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	2	・意識している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	・プログラムの参加や宿題を強制的にはせず自己判断をゆだねている。 ・基本的に児童の意思を尊重している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	・電話などでお互い様子を確認している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	・電話などで確認しあっている。 ・下校時間の変更等が生じる時はHPや保護者から連絡がある。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3	・個人情報にあたるため当事業所と契約前に通っていた保育所や幼稚園へ連絡すべきではないと考えている。 児童発達支援事業所については連絡しても良いかもしれない。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2	・障がい支援所と情報を提供、確認し合っている。 ・今年卒業の児童様の分を作成予定。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3	・講習等を受け、助言を受けている。 ・一部スタッフのみ受けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	・避難訓練で交流する機会を設けている。(4票) ・公園等で一緒にいることがある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2	・一部スタッフは参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・連絡帳やLINE、電話等で情報を共有している。 ・連絡帳や送迎時に伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	・保護者向け勉強会の実施(2票)	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・見学や体験を行い、説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1	・モニタリングや普段の様子を観察、質問をして家族の方や本人の意向を確認している。(2票) ・子どもに意向は確認できていないことがある。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	・説明を行い、質問もLINE等を駆使して随時対応している。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・面談や懇談は定期的に行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	・保護者会や運動会などで交流し、支援への足がかりとしている。(2票)	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・速やかに全職員に共有し、体制を整備するため会議を行っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・InstagramやFacebookなどを定期的に発信している。 ・広報誌を配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・外部の方が来訪する際には名前などが分からないように工夫している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・漢字が分からない保護者の方には連絡帳は全てひらがなで記入している。 ・絵カードを使用している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2	・夏祭りやハロウィン等の行事を開き、地域との交流を図っている。(3票)	・より向上を目指します。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	・緊急対応のマニュアルを作成し、対応の予行練習を実施している。 ・家族様には周知できていない。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・年4回の避難訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	1	・アセスメント保護者との面談で確認している。(2票) ・予防接種は確認していない。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	・現在対象児童はいませんが、今後対応していけるよう職員同士で情報交換をしている。 ・保護者からアレルギーの確認は行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・安全対策委員会を設置している。(2票)	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	4	・保護者の方々向けの講習を行っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・定期的に対策会議を開いている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・研修会を開いている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	3		